

# 江田島市がめざす教育の進化

## これまでの課題

これまでの授業は、教師が前に立って指導し、みんなと一緒に、同じことを、同じ方法で学ぶ、いわゆる一斉学習のスタイルが中心でした。長年の蓄積ある、効率的な指導方法である一方、こんな課題も…



一斉学習は、学力や特性の異なる一人ひとりに合った学びの提供には、どうしても限界がありました。

## これから学び

### 個別最適な学び



### 協働的な学び

「個別最適な学び」とは、こども一人一人の特性や理解度等に応じ、教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行ったり、支援の必要なこどもに重点的な指導を行ったりする学びです。  
また、こどもの興味・関心・キャリアの方向性などに応じて、学習に取り組む機会を提供する学びでもあります。

「協働的な学び」とは、こども同士が教え合ったり、助け合ったりする学びです。

また、地域の方々や多様な他者との出会いや対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりする学びでもあります。



## 実際にこんな学びを展開

### 「自由進度学習」

「自由進度学習」とは、学習計画をもとに、こども一人一人が自分の学習速度で進めていく学習スタイルです。自分で学びを進めるため、自立的な学びの力を高めることができます。また支援の必要なこどもは、教師によるより手厚い支援を受けることが可能になります。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した取組の一つです。

#### 見通しを持つ

#### 学ぶ

##### 自立的に

##### 協働的に

##### 支援を得て

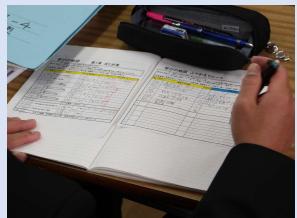
学習計画表を見ながら、単元全体の見通しをもち、自分の学びの計画を立てます。

教師はこどもたちが、自分に合った学び方で学べるよう、複数の学習の選択肢を示します。

計画に沿って、自分で学びを進めています。  
教師が前に立って説明する一斉授業と違い、自分のペースで学ぶことが可能です。

わからない問題や難しい問題は、ともだちと一緒にになって考えます。  
また問題によっては、クラス全員で意見を交流し、考え方を深めり広げたりします。

支援が必要なこどもには、教師がそばについて、適宜サポートを行います。  
また、習熟度に応じた小集団を形成し、教師がリードしながら学ぶこともあります。



### 全ての子どもの支援を目指して SSR の設置

スペシャルサポートルーム

近年、様々な背景により、全国的に不登校児童生徒が増加傾向にあります。このことは、江田島市でも同様です。

江田島市は、県の支援を受け、不登校傾向にある児童生徒の居場所であり、成長できる場となるスペシャルサポートルーム「SSR」の設置を進めています。

SSRでは、自分の強みを知り、生かす力・苦手な場面でSOSを出せる力など、「生きる力」を育てる取組を行っています。



※現在は、市内の3つの中学校に設置しています。

その他にもこのような教育を展開しています

### 道徳教育推進事業

道徳科の指導方法や教育活動全体を通じて行う道徳教育の実践研究を実施しています。



### 教育DXの推進

ICT(情報通信技術)を活用した授業改善や業務改善の研究を実施しています。



### さとうみ学習の推進

江田島の特色である海を活かした教育「さとうみ学習」の推進に取り組んでいます。



### 学校図書館リニューアル

読書活動の推進に向け、行きたい、利用したいと思える学校図書館の改装に取り組んでいます。

